令和２年度宅地建物取引士試験
解答速報

2020年10月18日20:30現在

問1	1	問11	4	問21	1	問31	1	問41	3
問2	4	問12	3	問22	1	問32	1	問42	4
問3	2	問13	4	問23	3	問33	1	問43	2
問4	3	問14	1	問24	4	問34	4	問44	4
問5	1	問15	4	問25	4	問35	3	問45	2
問6	3	問16	2	問26	3	問36	4	問46	2
問7	2	問17	1	問27	2	問37	1	問47	1
問8	2	問18	3	問28	3	問38	4	問48	3
問9	3	問19	3	問29	3	問39	2	問49	4
問10	2	問20	2	問30	4	問40	2	問50	3

TACが予想する合格基準点は、36±1点です。（10/18現在）

※次ページの講評もご覧ください。

※当解答速報はTAC独自の予想であり、解答及び合格基準点を保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合もございます。

※この解答速報の著作権はTAC株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC宅建士講座

令和２年度宅地建物取引士試験講評

【全体】
●民法等と法令上の制限の一部が難しくなったが、全体としては昨年より得点しやすい問題が多くなり、全体の合格ラインは昨年より若干上がるものと思われる。
●改正民法の細かい知識を問う論点が多く出題された。

【民法等】
●出題の形式面では、工夫された出題もあったが、昨年との違いはほとんどなく、例年通り判決文型の出題もなされた。
●答えの肢が易しい問題もあったが、頻出事項ではないため、難しいと思われる出題も少なくなかった。民法等全体の合格ラインは、昨年より下がると思われる。
●合格ラインは７点程度。

【宅建業法】
●難易度は、昨年よりも易しい。
●昨年の個数問題６問から、今年は４問に減少した。
●難しい肢が出題されても、消去法で正解できた。
●合格ラインは 17 点程度。

【法令上の制限】
●配置は、国土利用計画法が、昨年度と同様、法令制限の最後に出題となった。
●基本・応用論点を中心とした「主要６法令」からの出題であった。
●都市計画法（開発許可以外）と土地区画整理法の正解肢は、過去問にない論点であり難問であった。
●個数・組合せ問題は出題されなかった。
●合格ラインは６点程度。

【その他関連知識】
●問 23～25 は、全体的には平易な問題であった。問 25 の正解肢も、答練に出題されたテーマのため、正答率は高いものと考える。２問は正解したい。
●問 46～50 は、平易な問題が多く、点数をしっかりと獲得したい。但し、問 50 は、テキスト等での解説はあるものの、やや細かめな部分の誤りを問う選択肢が解答だったため、正答率は下がる可能性がある。４点は充分狙えると考える。

●８問トータルでみると、昨年とほぼ同じで点数は取りやすかった。
●合格ラインは６点程度。

以上